

# ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2015年12月1日

ホッカンホールディングス株式会社

代表取締役社長 工藤 常史

**2016年3月期 第2四半期決算概要及び通期見通し**

2016年3月期第2四半期決算概要	.....	3
2016年3月期見通し	.....	3
ホッカン・グループ紹介	.....	4
ACTIVE－5数値計画	.....	5
ACTIVE－5計画未達要因	.....	6
ACTIVE－5基本戦略	.....	7
ACTIVE－5新規事業進捗	.....	8
ACTIVE－5新規事業進捗	.....	9

常務取締役 山崎 節昌

**2015年9月期決算詳細**

連結セグメント別概要	.....	11
連結損益計算書	.....	15
連結貸借対照表	.....	16
連結有利子負債の圧縮	.....	17
連結キャッシュフロー計算書	.....	18
連結設備投資	.....	19

**【参考】経営成績**

要約連結貸借対照表	.....	21
要約連結損益計算書	.....	22
要約連結キャッシュフロー計算書	.....	23

**【参考】会社概要**

プロフィール	.....	25
経営理念	.....	26
本社と各社工場	.....	27
沿革	.....	28
お問合せ先	.....	29

# 2016年3月期 第2四半期決算概要 及び通期見通し

## 2016年3月期 第2四半期決算

単位：百万円、%

	2015年9月期		2014年9月期
		前年同期比 伸び率	
売上高	64,049	▲22.9	83,051
営業利益	3,804	149.5	1,525
経常利益	4,378	104.2	2,143
当期純利益	2,592	108.8	1,241

## 2016年3月期 業績予想

単位：百万円、%

	2016年3月期		2015年3月期
	通期見通し	前期比 伸び率	通期実績
売上高	122,000	▲20.2	152,931
営業利益	3,400	316.6	816
経常利益	4,300	160.2	1,652
当期純利益	2,300	—	▲4,805

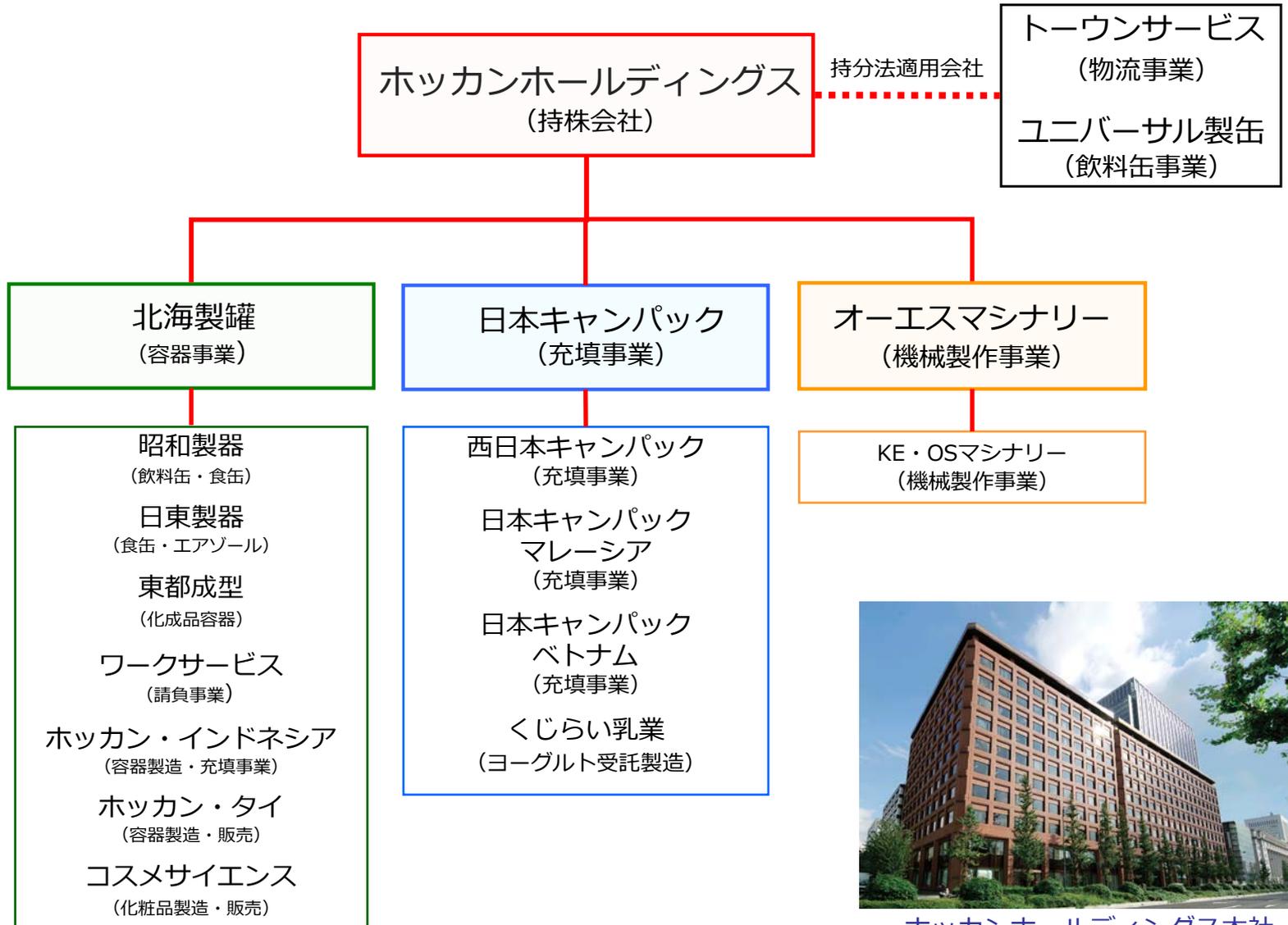
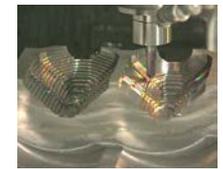
### ■ 決算概要

売上高は一部お客様の飲料事業撤退の影響、及び充填事業におけるお客様との取引形態変更の影響を受け減少。営業/経常/純利益については固定費削減、猛暑効果、エネルギーコスト低下の要因により増益。

### ■ 通期見通し

容器充填事業共に不透明な業界環境が継続すると予想。上期業績の上振れを反映するも通期見通しについては慎重な姿勢を維持。

# ホッカン・グループ紹介



ホッカンホールディングス本社

売上/利益計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期実績	16/3期見通し	16/3期計画
売上高	1,731億円	1,669億円	1,697億円	1,529億円	1,220億円	1,850億円
営業利益	46億円	49億円	38億円	8億円	34億円	75億円
営業利益率	2.7%	3.0%	2.2%	0.5%	2.8%	4.1%
ROE	5.9%	7.1%	4.3%	N/A	5.2%	7.0%

財務計画	12/3期実績	13/3期実績	14/3期実績	15/3期実績	16/3期見通し	16/3期計画
有利子負債	464億円	435億円	444億円	512億円	500億	300億円
自己資本比率	29.9%	33.3%	33.4%	32.0%	34.0%	40.0%
流動比率	96.8%	100.5%	101.8%	92.2%	98.0%	100.0%

売上高

- 容器事業での競争激化による販売不振
- 充填事業でのお客様との取引形態変更
- 機械製作事業での外部販売計画の未達

利益

- 売上高減少
- エネルギーコスト上昇

1. TPS(トータル・パッケージング・システム)
2. 環境
3. 海外事業
4. 新規事業 (M&A)
5. グループ経営
6. 情報システム

## コスメサイエンス 新工場完成

- 化粧品受託製造工場を新設
- 2016年1月 商業生産開始予定
- 投資額：約14億円
- 所在地：東京都北区浮間
- 製袋充填式ブリック・パウチ設備を導入



新工場外観

## くじらい乳業 新工場完成

- ヨーグルト受託製造工場を新設
- 2016年2月 商業生産開始予定
- 投資額：約39億円
- 所在地：埼玉県行田市
- 4ポット・タイプヨーグルトを製造予定



商業生産に向け設備試運転中

# 2016年3月期 第2四半期決算及び 財務状況詳細

# セグメント別概要①

スチール缶事業	飲料用スチール缶	重要取引先の飲料事業撤退	前年比マイナス
	農産缶詰	スイートコーン缶の増加	前年度比プラス
	水産缶詰	水産原料の水揚げ減少	前年度比マイナス
	エアゾール缶	工業製品、塗料製品、ボンベ缶 増加	前年度比プラス
	美術缶	和洋菓子関連商品の受注増加	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	お客様内製化の影響	前年度比マイナス
	プリフォーム	猛暑効果による増産	前年度比プラス
	食品用プラスチックボトル	醤油用ボトル、中元商材の受注増加	前年度比プラス
	一般成形品	化粧品用、農薬園芸用品用 容器の受注増加	前年度比プラス

容器事業：売上高 21,872百万円 前年同期比 ▲1.3%

## セグメント別概要②

充  
填  
事  
業

缶製品

炭酸ライン撤去による減産

前年度比マイナス

大型PET

猛暑効果による増産

前年度比マイナス

小型PET

猛暑効果による増産

前年度比マイナス

充填事業：売上高 38,657百万円 前年同期比▲33.8%

※大型&小型PET 販売数量ベースでは前年同期比プラスも、一部お客様との取引形態変更の影響により売上減少

機  
械  
製  
作

機械製作

金型、自動車部品生産機械の順調な販売

前年度比プラス

エンジニアリング

グループ内受注の減少

前年度比マイナス

機械製作事業：売上高 781百万円 前年同期比 +54.4%

# セグメント別概要③

そ  
の  
他

インドネシア事業

第2ライン増設効果

前年度比プラス

ベトナム事業

ベトナム国内販売及び輸出数量増加

前年度比プラス

構内作業

安定的な運営

前年度並

化粧品事業

コスメサイエンス連結化

—

その他：売上高 2,738百万円 前年同期比 +35.7%

# セグメント別概要④



単位：百万円

	2015年9月期				2014年9月期			
	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他
売上高	24,975	38,657	1,746	3,493	27,449	58,361	4,320	2,824
外部顧客向け	21,872	38,657	781	2,738	22,166	58,361	506	2,017
セグメント間	3,102	—	964	755	5,282	—	3,814	807
営業利益	995	3,494	▲21	▲93	80	1,836	43	102
消去	570				537			
連結	3,804				1,525			

## 営業利益

- 容器事業：固定費削減、猛暑効果、エネルギーコスト低下等により増益
- 充填事業：生産性向上、猛暑効果、エネルギーコスト低下等により増益
- 機械事業：売上増加も販売構成の変化により減益
- その他事業：化粧品事業赤字の影響により減益

単位：百万円、%

	2015年9月期			2014年9月期	
		百分比	前年同期比 伸び率		百分比
売上高	64,049	100.0	▲22.9	83,051	100.0
売上原価	53,640	83.7	▲28.1	74,639	89.9
売上総利益	10,409	16.3	23.7	8,412	10.1
販管費	6,604	10.3	▲4.1	6,886	8.3
営業利益	3,804	5.9	149.5	1,525	1.8
営業外収益	1,137	1.8	24.4	914	1.1
営業外費用	563	0.9	90.8	295	0.4
経常利益	4,378	6.8	104.2	2,143	2.6
特別利益	-	0	-	-	0
特別損失	157	0.2	112.2	74	0.1
税引前利益	4,220	6.6	104.0	2,069	2.5
当期純利益	2,592	4.0	108.8	1,241	1.5

## ■売上高 前年同期比▲22.9%

一部お客様の飲料事業撤退、  
および充填事業での取引形態変  
更による影響。

## ■営業利益 前年同期比149.5%増

## ■経常利益 前年同期比104.2%増

## ■純利益 前年同期比108.8%増

固定費削減、生産性向上、猛暑  
効果、エネルギーコスト低下、  
減価償却方法の変更等の影響に  
より利益は回復

# 連結貸借対照表

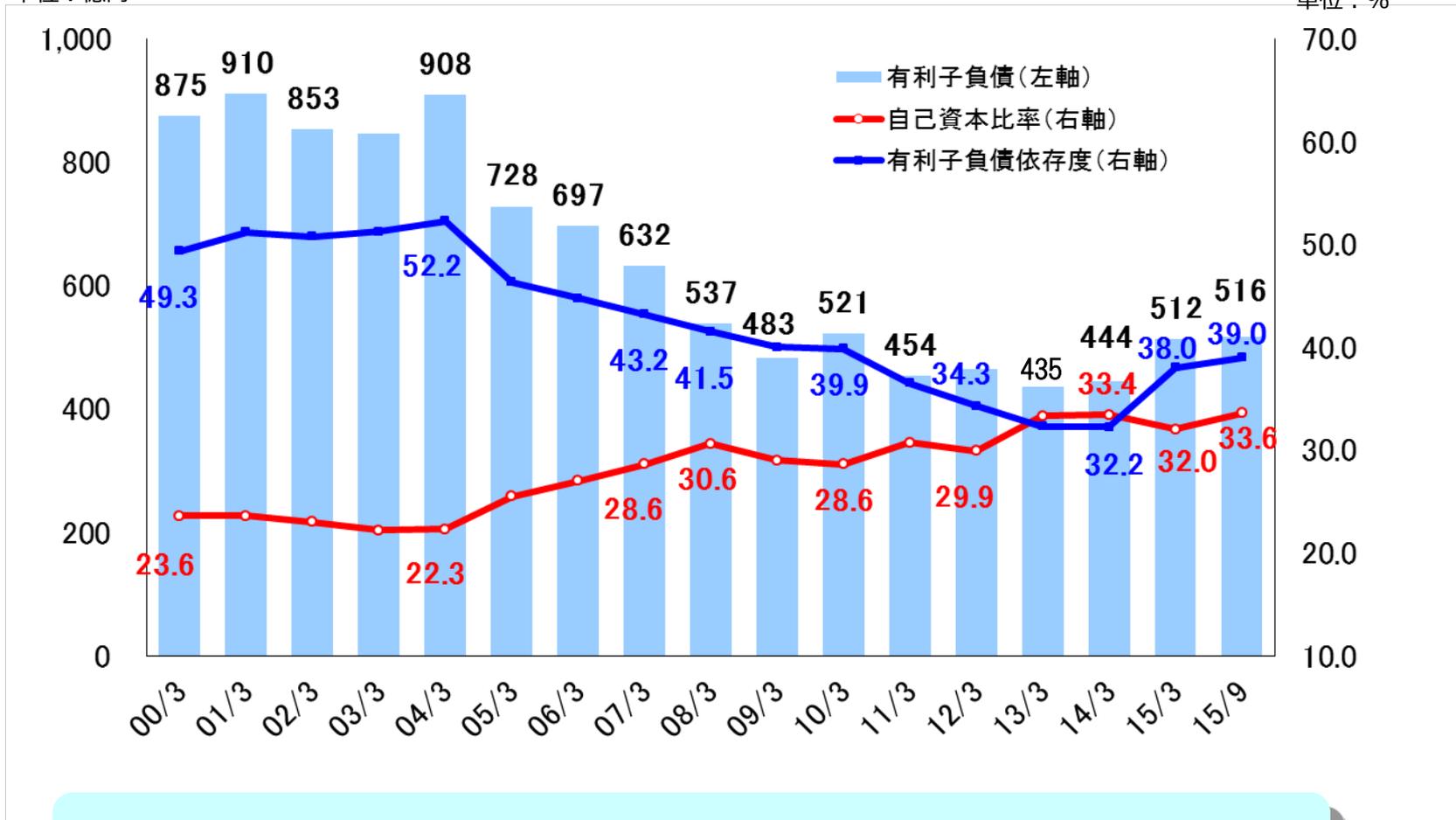
単位：百万円、%

	2015年9月末		2015年3月末		2014年9月末	
		構成比		構成比		構成比
売上債権	28,682	21.7	28,305	21.0	32,508	23.2
棚卸資産	9,086	6.9	9,159	6.8	10,602	7.6
有形固定資産	63,628	48.0	64,732	48.0	65,339	46.7
総資産	132,445	100.0	134,820	100.0	139,992	100.0
仕入債務	18,571	14.0	19,465	14.4	25,298	18.1
短期借入金	16,744	12.6	14,084	10.4	13,227	9.4
長期借入金	34,876	26.3	37,164	27.6	34,657	24.8
純資産	48,602	36.7	47,012	34.9	51,926	37.1

■ 自己資本比率は前期末比で1.6%増加し 33.6%

# 連結有利子負債の推移

単位：億円



■ 有利子負債依存率は前期末比で1.0%増加し 39.0%

単位：百万円

	2015年9月期	2014年9月期
営業活動によるキャッシュフロー	6,410	4,603
投資活動によるキャッシュフロー	▲8,325	▲8,324
財務活動によるキャッシュフロー	2,254	2,958
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲10	▲4
現金及び現金同等物の増減額	327	▲766
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	87	82
現金及び現金同等物の期末残高	1,344	1,775

- 営業キャッシュフローは純利益、減価償却費が増加要因
- 投資活動キャッシュフローは主に充填事業における設備投資が減少要因
- 財務活動キャッシュフローはセール・アンド・リースバックによる収入が増加要因
- 現金及び現金同等物は327百万円増加
- この結果、手元キャッシュは 1,344百万円

単位：億円

	2008/3 実績	2009/3 実績	2010/3 実績	2011/3 実績	2012/3 実績	2013/3 実績	2014/3 実績	2015/3 実績	2016/3 見通し
設備投資額	40	45	141	90	88	67	101	166	90
減価償却費	87	79	74	90	92	82	79	81	58

※2016/3減価償却費 固定資産償却方法を定率法から定額法へ変更

## 2016年3月期 予想

- 容器事業： プラスチック製品製造設備等 21 億円
- 充填事業： ペットボトル充填関連設備 21 億円
- 海外事業： インドネシア、ベトナム充填関連設備 9 億円
- 新規事業： くじらい乳業新工場建設 25 億円  
コスメサイエンス新工場建設 14 億円

# [参考] 経営成績

# 要約連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2015年3月期		2014年3月期		2013年3月期	
		構成比		構成比		構成比
流動資産	41,963	31.1	51,171	37.0	51,663	38.3
預金・現金	930	0.7	2,459	1.8	1,470	1.1
売上債権	28,305	21.0	34,233	24.8	36,750	27.3
棚卸資産	9,159	6.8	10,096	7.3	9,728	7.2
固定資産	92,857	68.9	87,003	63.0	83,199	61.7
有形固定資産	64,732	48.0	61,748	44.7	60,319	44.7
総資産	134,820	100.0	138,175	100.0	134,862	100.0
流動負債	45,500	33.7	50,242	36.4	51,389	38.1
仕入債務	19,465	14.4	27,300	19.8	28,754	21.3
短期借入金	14,084	10.4	11,422	8.3	12,385	9.2
固定負債	42,308	31.4	38,152	27.6	35,654	26.4
長期借入金	37,164	27.6	33,011	23.9	31,125	23.1
負債合計	87,808	65.1	88,395	64.0	87,043	64.5
純資産	47,012	34.9	49,780	36.0	47,818	35.5

単位：百万円、%

	2015年3月期		2014年3月期		2013年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	152,931	▲9.9	169,714	1.6	166,981	▲3.5
売上原価	138,942	▲8.8	152,306	2.4	148,770	▲4.4
売上総利益	13,989	▲19.6	17,407	▲4.4	18,210	3.9
販管費	13,173	▲3.4	13,641	2.8	13,273	2.9
営業利益	816	▲78.3	3,765	▲23.7	4,937	6.8
営業外収益	1,523	▲1.0	1,539	▲15.0	1,810	23.5
営業外費用	686	3.1	665	▲15.1	783	6.8
経常利益	1,652	▲64.4	4,639	▲22.2	5,964	11.4
特別利益	136	338.7	31	244.4	9	▲90.6
特別損失	6,257	559.3	949	▲0.6	955	6.1
税引前利益	▲4,468	-	3,722	▲25.8	5,019	10.3
純利益	▲4,805	-	1,966	▲35.4	3,042	31.9

# 要約連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

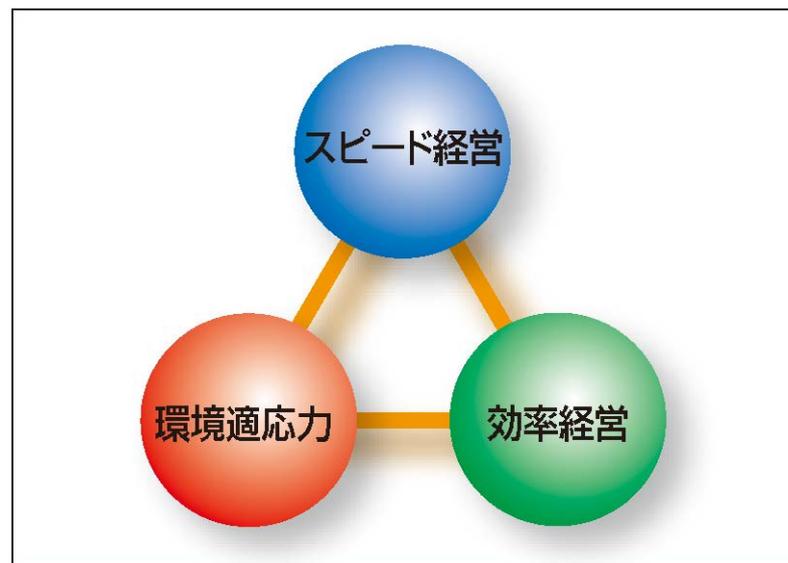
	2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	7,756	9,710	10,314
税引前当期純利益	▲4,468	3,722	5,019
減価償却費	8,120	7,884	8,309
支払利息	376	445	520
有形固定資産除売却損益	251	331	341
売上債権の増減額	5,937	2,744	2,530
棚卸資産の増減額	974	▲383	▲527
仕入債務の増減額	▲7,847	▲1,767	▲3,121
投資活動によるキャッシュフロー	▲15,138	▲9,743	▲6,650
有形固定資産の取得による支出	▲13,503	▲8,186	▲5,061
有形固定資産の売却による収入	3	0	26
財務活動によるキャッシュフロー	5,706	673	▲3,775
短期借入金の純増減額	2,935	▲546	▲1,948
長期借入金の純増減額	3,847	1523	▲970
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	101	▲13
現金及び現金同等物の増減額	▲1,611	741	▲125
現金及び現金同等物の期末残高	930	2,459	1,470

# [参考] 会社概要

商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証 (証券コード：5902)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号



昭和20年代の北海製罐  
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を推し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

# 本社と各社工場

● ホッカホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場 (昭和製器)
群馬県	明和工場 (日東製器)
	千代田工場
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
	コスメサイエンス
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカ・インドネシア
タイ	ホッカ・タイ

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
埼玉県	くじらい乳業
岐阜県	西日本キャンパック
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	日本キャンパック・ベトナム

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場
静岡県	KE・OSマシナリー



日本キャンパック 利根川工場



OSマシナリー 群馬工場



北海製罐 岩槻工場



- 1921年 北海製罐倉庫（株）創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者 8 社大合同により新たに東洋製罐（株）設立（旧北海製罐倉庫（株）は小樽工場となる）
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその付属設備を分離し北海製罐（株）を設立 資本金5,000万円  
 本社は東京に設立 東京証券取引所に上場  
 小樽電解工業(株) 設立（現昭和製器(株)）
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第 1 工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立（現オーエスマシナリー(株)）
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャニングを設立  
 （2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更）
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工  
 日本キャンパック 第 2 工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工  
 日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行  
 三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2010年 日本キャンパック 利根川工場第 2 ライン竣工
- 2011年 PT.ホッカインドネシア 設立
- 2012年 KE・OSマシナリー設立  
 キアンジュ・キャンパック・ベトナムを子会社化 日本キャンパック・ベトナムへ名称変更
- 2013年 ホッカイン・タイ設立  
 株式会社コスメサイエンスを子会社化
- 2014年 くらい乳業株式会社を子会社化



昭和30年代の北海製罐  
 函館工場と北洋漁業風景

当資料に記載された内容は、2015年12月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先：

ホッカンホールディングス株式会社

常務取締役 山崎 節昌

TEL：03-3213-5111